

# 数学科 2年

## 教科の目標

- ① 数についての理解を深め、文字式による表現や処理の仕方を理解し、具体的な数量やその関係の考および問題解決に活用できるようにすること。  
平面図形や空間図形の基礎概念については理解を深め、活用する能力を伸ばすとともに、図形に関する基礎的な見方や考え方、図形の性質を数学的推論の方法で考察する過程を通して、論理的に表現する能力を伸ばすこと。
- ② 具体的な事象から2つの数量を取り出し、変化や対応を調べることを通して、関数関係を見だし表現し考察する能力を伸ばすこと。

## 学習計画

1学期 (週3時間)			2学期 (週3時間)			3学期 (週3時間)		
月	週	内容	月	週	内容	月	週	内容
4	1	オリエンテーション	9	18	5章 三角形と四角形	1	35	6-2.確率による説明
	2	1章 式の計算 4章 平行と合同		19	5-1.三角形		36	
	3	1-1.式の計算 4-1.説明のしくみ		20	中間考査(17~18日)		37	
	4			21	3章 1次関数	2	38	7.データの比較
5	5	4-2.平行線と角	10	22	3-1.1次関数		2	39
	6	1-2.文字式の利用		23	3-2.1次関数の性質と調べ方	40		
	7			24		41		学年末考査(24~26日)
	8			25		3	42	2年生の復習
9	2章 連立方程式	26		43				
6	10	2-1.連立方程式とその解き方 4-3.合同な図形	11	27	5-2.平行四辺形		44	
	11	期末考査(10~12日)		28	期末考査(12~14日)		45	
	12			29	3-3.2元1次方程式と1次関数			
7	13		30					
	14	2-2.連立方程式の利用	31	3-4.1次関数の利用				
	15		32					
			12	33	6 確率			
				34	6-1.確率			

## 評価について

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	観点の割合	33%	観点の割合	33%	観点の割合	33%
評価資料	小テスト		小テスト		小テスト	
	定期考査		定期考査		定期考査	
			提出物		提出物	
					授業観察	

## 学習の仕方と評価のポイント

- 復習がとても大切です。授業で学習したことは、必ずその日の内に復習して下さい。そして、次の授業につなげて下さい。
- 力を定着させるには繰り返し問題を解くことが大切です。力を伸ばすには、できなかった問題や間違えた問題の解き直しをするとともに、難しい問題にもチャレンジすることが大切です。
- 提出物や問題集の点検では、正解し、理解しているかを見るだけでなく、間違えた問題は解き直し、理解に努めているかも見ます。